

# 令和5年度 学校努力点研究

## 研究のテーマ

### 子どもたちの可能性を引き出す 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

～互いに関わり合い、支え合い、認め合う子どもたち～

#### I 研究のねらい

本校では、自分なりの見通しをもって自己選択・自己決定することができる学びの環境、「自ら学びたい」という主体性をもたせるための手立てを取り入れることで、学習内容の一層の定着や自身の可能性を最大限に伸ばしていくことができる児童の育成を目指し、取り組んできた。

今年度は、一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じて、必要な課題や学習活動を選択して取り組むだけでなく、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を、より一体的に充実させた授業実践に焦点を当てる。子どもの多様な考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出していくことで、学習内容を深く理解したり、考えを形成したりする児童の育成へと繋げていきたい。

#### II 実践の方法 ～関わり合い、支え合い、認め合う場を設定するにあたって～

＜探究学習における授業例＞

- ① 課題の設定 個別 協働
- ② 情報の収集 個別
- ③ 整理・分析 協働
- ④ まとめ・表現 協働 個別

#### 個別学習

- ・興味に即した調べ学習
- ・思考を深める学習
- ・学習の振り返り
- ・個人での制作

#### 協働学習

- ・意見交流・整理
- ・話し合い、発表
- ・異学年、学校外との交流
- ・協働での制作

- **個別学習**で得た知識や考えを生かしながら、他者との意見交流などの**協働学習**をする。そこで深まった考えを基に、振り返りなどの**個別学習**をすることで、児童の理解度や学習の定着度を高め、深い学びへと繋げていく。
- 各学年2学級で、授業実践を公開する。
- 同じ部会の公開授業は、できる限り参観する。他部会の授業にも、各部会から1名以上参観し、参観者は事後検討会にも参加する。(交代で参観してもよい)
- 6月に全体授業研究を行い、全員で参観する。事前・事後検討会も行う